

【事業実績】

報告書オンライン版 URL: <https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/000247807.htm>



1. 目の見えない／見えにくい人向けの鑑賞プログラム

対象：三重県視覚障害者支援センターの利用者 計4名

日時：2020年10月9日（金）14:00－16:00、2021年3月24日（水）13:00－15:00

会場：三重県立美術館常設展示室、柳原義達記念館、美術体験室

概要：

（1）10月のプログラム

三重県視覚障害者支援センターの協力を得て、同センターの利用者を対象に少人数で試行プログラムを実施。参加者は、常設展示室でスタッフによる説明（言葉による記述）を聞いたり、作品の簡易図に凹凸を付けた触図や、触れるツールに触れたりしながら、三重県立美術館所蔵の油彩画2点を鑑賞。柳原義達記念館のブロンズ彫刻についても、スタッフと対話しながら触覚を活用して鑑賞。

参加者の声：

- ・[増改築工事を行っていたので] 以前と入口がちがいで、入館するときに迷った。
- ・鑑賞をしている時、部屋のなかでどの方向を向いているか分からなくなった。触れる地図のようなものが入口にあると分かりやすいかもしれない。

（2）3月のプログラム

前回鑑賞会の意見を踏まえ、展示室の触地図の試作も設置し、どのような表示・設置の方法が分かりやすいか意見を収集した。

参加者の声：

- ・見えない人は見える人と一緒に来館することが多いため、見える人がパッと見てすぐ触れるものだと分かることが重要。
- ・[触地図は] 記号[凡例]が多すぎると、覚えるのが大変。
- ・[絵画鑑賞について] 触図だけでは分かりづらく、説明がある方が分かりやすい。



（左）10月のプログラムの様子（右）3月のプログラムの様子 いずれも撮影：松原豊

2. 赤ちゃんのためのオンライン鑑賞会

対象：0－2歳児と保護者 計13組

日時：2021年3月18日（木）、3月21日（日）いずれも10:00－11:00

講師：富田めぐみ（NPO法人 赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 代表理事）

企画協力：NPO法人 赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会

概要：

美術館を利用しづらい層である乳幼児とその家族向けのオンラインプログラム。2021年1－3月に三重県立美術館常設展示室で開催していた「コレクション名品選」より油彩画8点を選び、講師からのメッセージと作品画像を含む動画コン

テンツを事前に参加者と共有。動画を見た乳幼児の反応を保護者が美術館にメールでしらせ、それらに基づいて講師が当日のプログラムを構成した。当日は講師が保護者や学芸員と対話し、乳幼児に話しかけたり画像を見せたりしながら、オンライン会議システム Zoom を使用して鑑賞会を実施。

参加者の反応、アンケート回答など：

- ・アットホームな雰囲気、オンラインなので気軽に参加できてよかった。
- ・作品のコピーを事前に送付または印刷可能なデータ提供等があれば、家に飾って事前にゆっくり見ることができたかもしれない。
- ・鑑賞会后、家族で美術館を訪れた。

事前動画 URL: <https://youtu.be/JoZW7S2l6RI>

3. 多様な作品解説の展開

時期：2020 年度「美術館のコレクション（常設展示）」Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅳ期で実施

概要：コロナ禍により展示室内での活発な会話が制限されていたことから、作品解説の書き方や掲出方法を再検討し多様な展開を試みた。7 月以降の常設展示の一部では、①中学生向けの短い解説文を展示室のパネルとウェブサイトに掲載②長い解説文をウェブサイトに掲載（希望者にはリーフレットを配布）③パネル拡大印刷を希望者に配布した。さらに、1 月以降は三重県立四日市高等学校の生徒が執筆したコメントも掲示した。

高校生のコメント掲載ページ URL: <https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/000245961.htm>

所蔵品 5 作品の音声ガイドも 2 種類ずつ作成・公開。1 種類は一般的な音声ガイド、もう 1 種類は主に目の見えにくい人を対象に想定し、作品を言葉で記述したガイド。

音声ガイドポータルページ URL: <https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/000249071.htm>

4. ソーシャル・ガイドの開発

コミュニケーションを苦手とし、初めての場所には不安を感じやすい発達障がいのある人（主に自閉症スペクトラム障がいのある人）のためのソーシャル・ガイド（コミュニケーションの習慣や暗黙の了解を平易な文章や写真・イラストで説明したもの）を、三重県自閉症協会の全面的な協力を得て開発した。三重県立美術館が作成したガイド案に対し、自閉症協会の役員・理事がさまざまな当事者の反応を考慮しながら、内容改善のための助言を行った。推敲の過程では、表記・図示の方法から、写真や言葉の選び方にいたるまで、細かく検討が行われた。

ソーシャル・ガイドの掲載ページ URL: <https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/000248624.htm>

5. ボランティア向け研修（試行プログラムのみ）

対象：三重県立美術館ボランティア「樺の会」団体案内グループ、チーフ会メンバー 13 名

日時：2020 年 12 月 3 日（木）13:45－14:30

概要：三重県立美術館ボランティア「樺の会」の団体案内グループが担当する会員向け勉強会に先立って、運営担当の会員を対象とした試行プログラムを実施。その後感染状況が悪化したため、当初予定されていた全会員向け勉強会は延期となった。

6. 利用者・未利用者の調査

既存の来館者アンケートの内容を館内で再検討して改訂を行い、7 月から来館者向けオンラインアンケートを公開（9 月から消毒液を用意して紙アンケートも設置再開）。また、来館者を対象としたアンケート調査では、回答者が一部の来館者に限られることから、2021 年 2 月には三重県の「キッズ・モニター」制度を活用して、未利用者も含む小学生から高校生までのキッズ・モニターを対象に、美術や美術館の認知度、3 の中学生向け解説文の難易度について調査を実施した。

キッズ・モニターアンケート結果 URL: <https://www.e-kocho.pref.mie.lg.jp/monitor/index.html?a=top:result&id=370>